【活動報告】JNTO 広域連携プロモーション事業 タイ旅行会社招聘事業に参加しました

2026 年 7 月、JNTO（日本政府観光局）が実施する「令和 8 年度 JNTO 広域連携プロモーション事業（広プロ事業）」におけるタイ旅行会社招聘事業に参加しました。

当機構は、7 月 19 日（日）に三重県津市で開催された交流会（意見交換会）に参加するとともに、7 月 21 日（火）には愛知県内の視察行程に同行し、タイ・バンコクの旅行会社 4 社をはじめ、JNTO 関係者の皆様と交流・意見交換を行いました。

今回の招聘事業では、愛知・静岡・三重の各地域を中心に、茶文化体験や食品工場見学、フルーツ狩り、伊勢神宮、VISON、鈴鹿サーキット、犬山城・城下町など、地域ならではの多彩な観光コンテンツを視察いただきました。

特に、現地旅行会社の皆様から直接お話を伺えたことは、大変有意義な機会となりました。タイは、海外旅行の渡航先として日本への人気が非常に高く、近年は訪日リピーターも増加しています。その一方で、旅行経験を重ねたお客様の関心は、東京・京都・大阪といった定番観光地だけでなく、地方ならではの体験や、まだ広く知られていない地域の魅力へと広がっています。

今回の視察では、コンテンツによって旅行会社の反応に違いが見られたことも印象的でした。なかでも、鈴鹿サーキットの体験型コンテンツは強い関心を集め、実際にツアー商品への組み込みを検討する旅行会社も複数ありました。一方、既に知名度のある観光施設であっても、他地域との差別化や新鮮さがなければ、必ずしも旅行商品造成につながるとは限らないことも改めて認識しました。

こうした現地旅行会社の率直な反応や市場の生の声は、今後のタイ市場向けプロモーションを考えるうえで、非常に貴重な情報です。訪日リピーターが増加する成熟市場だからこそ、一般的な観光情報の発信にとどまらず、旅行会社がお客様に提案したくなる「ここにしかない体験」や、地域を組み合わせた魅力的な周遊ルートの提案が重要であると感じました。

当機構では、名古屋をゲートウェイとして、愛知・岐阜・三重をはじめ、北陸・信州・静岡・滋賀など 9 県に広がる中央日本エリアの魅力を一体的に発信し、広域周遊観光の促進に取り組んでいます。

今後も JNTO や地方自治体、交通事業者、地域の観光関係者、現地旅行会社との連携を一層深めながら、タイ市場における「中央日本エリア」の認知度向上と旅行商

品の造成を推進し、東京・京都・大阪に加えて、中央日本を訪れ、滞在し、楽しんでいただける訪日旅行の実現に向けて、積極的に活動してまいります。






